

2023年 4月 29日

2022 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名特定非営利活動法人 オニバスの種
代表者・役職名 氏名 理事長 草刈智のぶ

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

学習へのファーストステップ『らうんど テーブル』

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

任意団体で2000年から不登校の親の会の活動を始め、子どもの居場所活動を2012年に開設しました。運営は全てボランティアで、公的な補助はありません。開設当初は参加者だった子どもたちがボランティアとして活動を支えるようになっていきます。2015年にNPO法格を取得して、助成金を活用して活動の幅を広げてきました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

不登校の児童生徒数は2013年から9年連続で増加し、24万人を超えました。子どもたちは一定の期間を家庭で過ごしなが、徐々に生きる力を回復させます。回復後の課題が学習です。学習する意欲を持つようになった子どもへの支援が求められています。

居場所ですまず元気を取り戻し、次に何かに挑戦しようとする時に、基礎となる学習を必要とします。学びはいつからでもスタートできます。学年にとらわれず、ひとり一人に合った学習活動が必要です。それを通い慣れた居場所で展開することで、よりスムーズに安心して学べるようにしたいと考えました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

学習へのファーストステップ『らうんどテーブル』

学びから遠ざかっている子どもたちにも学習権があります。安心して学ぶには、居場所で学ぶのが確実です。学ぶ内容はひとり一人の課題に合わせ、学校との連携にも努めます。ゆっくりじっくり緊張感なく学ぶことや、子どもたちが教え合い学び合うなかで、学ぶ楽しさや教える喜びを感じ取る機会にします。

日時:週3回(月・水・金)午後2時~4時

場所:コムーネハウス(民間の集会所)など

内容:ひとり一人に合った学習内容にする

学習の内容について学校との連携を図る

通信制高校生のレポート学習の支援をする

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

◎実施回数120回、延べ参加者112人、毎回1～4人参加。

家庭から一歩出て居場所に参加できるようになっていた子どもたちが、学習を始めました。自分自身で選んだ問題集を使い、毎回目標を立てて学びました。疲れたら休み、気分転換をしながら、目標を達成しようとする態度が見られました。学習面で不安を持っていた子は自信を持って新学年を迎え、学校に行く回数が増えました。通信制高校生は課題をクリアできました。

居場所に学習支援が併設している事で、保護者や学校を含む公的な相談機関からの信頼を得ることができました。子どもたちは居場所で安心して過ごしながら、生きている事を肯定できます。自分を肯定できたからこそ、学習や学校復帰に取り組む事ができると証明できました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

不登校をした子が学校復帰をするためには、まず学習の遅れを取り戻す事だという認識が子どもを苦しめています。一番大切なことはありのままの状態できている価値が十分にあることを知ることです。その次のステップとして学習があります。その場として、『らうんどテーブル』は最適な場所になりました。学習したい意欲が出てきた時にいつでも安心して行ける場所として、まずは常設することが大事です。

さらにもう一つの課題としては学校との連携です。東京都教育委員会の不登校対策事業の、「東京都学校・フリースクール等協議会」に参加しています。その協議会を通じて、学校との連絡や連携をこれまで以上にできる可能性があります。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。



